



議会のうごき

ACTION

6月

- 20日(月) ◆三和IAG会館
- 22日(水) ◆町民憲法等制定委員会
- 23日(木) ◆夏祭り盆踊り大会実行委員会
- 26日(日) ◆東通四半の戸道和水大会
- 30日(木) ◆第1回金沢三馬ラン大会実行委員会
- ◆広報調査特別調査委員会

7月

- 11日(月) ◆議会常任委員長・議会運営委員長研修会(自治会館)
- 14日(木) ◆城北ブロック消防広域化協議会設立総会(山鹿市)
- ◆全県協議会
- 16日(土) ◆ひまわり園「夕べの集い」
- 19日(火) ◆町民委員会(玉名地域振興局)
- 21日(木) ◆22日(金) ◆経済文教常任委員会(長崎県南島原市、佐賀県三養基郡上峰町)
- ◆建設経済常任委員会(大分県豊後大野市)
- 24日(日) ◆古道具展に係る清掃作業
- 28日(木) ◆運営総代会(玉名森林組合)
- 28日(木) ◆厚生常任委員会(大分県宇佐市、日出町)
- 31日(日) ◆ペーロン川崎大会

8月

- 1日(月) ◆2日(火) ◆第41回古物展
- 1日(月) ◆韓国公州市訪問団(商工会)
- 3日(水) ◆長崎県川棚町より研修出張
- 4日(木) ◆5日(金) ◆議会運営・広報調査特別委員会初会合研修(鹿児島県曾根郡大崎町)
- 8日(月) ◆町民委員会(玉名地域振興局)
- 9日(火) ◆夏まつり盆踊り大会実行委員会
- 12日(金) ◆国道443号東道と仁山峠玉名八女線道路整備促進協議会会合
- 13日(土) ◆夏まつり盆踊り大会
- 17日(水) ◆和水町道路整備推進委員会会合
- ◆町民憲法等制定委員会
- 19日(金) ◆平成23年度 町村議会正副議長研修会(自治会館)
- 22日(月) ◆県道玉名立花線等道路開通期成会(同ロイヤル)
- 26日(金) ◆第44回町民大会(新嘉球技大会)
- 27日(土) ◆せくすい荘夏祭り、森の里夏祭り
- 29日(月) ◆玉名八女線道路整備促進協議会会合
- 30日(火) ◆一般国道443号東道と仁山峠玉名八女線道路整備促進協議会(和火町)
- ◆八つの神様おまつり試食会
- ◆農業委員会和水町町定農業者協議会合同会合
- 31日(水) ◆議会運営委員会

9月

- 1日(木) ◆金沢夜形式
- ◆有科老人ホーム花みずき別荘形式
- ◆城北ブロック消防広域化協議会
- 6日(火) ◆ふれあい高齢者のつどい

編集委員

委員長	小山 暁
副委員長	豊後 力
委員	荒木 拓馬
委員	松村 慶次
委員	中村 一博
委員	蒲池 恭一

傍聴席から一言

中村 博美氏
(和水町顧問)

私は、今回婦人会の仲間と議会の傍聴をさせてもらいました。

議会には、堅苦しい、難しいというイメージを持っていましたので、緊張して、議場に入りました。中に入ると静けさの中にビーンとした空気を感しました。

議員の皆さんと町長をはじめ執行部の方々が席に着かれた中、開会が宣言され一般質問が始まりました。

一般質問の内容は、産業廃棄物処理場問題、学校統合後の跡地利用について、社会教育、公民館活動についてなど多岐にわたるものでしたが、これからの和水町にとって大変重要なことであり、町民の代表として町をより良いものにならんと日々努力されていると思いました。また、質問は60分という制限時間のなか「まだあと1分ある」と制限時間いっぱい質問されていたのは印象的でした。

議会を傍聴して、一町民としてももう少し関心を持たないといけないのではないのかという思いと、これから機会があれば参加をして、町の課題、将来の方向など気にかけるたいと思います。

編集後記



今年も例年同様、厳しい寒さが続きましたが、ようやく過ごしやすくなる季節、爽やかな秋を迎える事が出来ました。

3月11日に発生しました未曾有の東日本大震災もさることながら、9月3日の台風12号、9月21日の台風15号においても、人命とともに多大な被害が起きております。幸いにも我が町においては風水害もあまりなく、日々の暮らしに感謝したいと思っています。

そして、「自然災害は何時起こるか分からない」を再確認して議会と致しまして町民の皆様方の生命、財産を守る為、

議論を深めております。

さて、9月定例会が9月8日から16日までの9日間の会期で開催され、執行部上程の一般会計予算をはじめ、すべての議案が可決されました。

又、一般質問では、4名が登壇し活発な議論がなされました。

編集委員と致しましては、「議会だより」を読んで頂いているのだろうか？どうしたら読んで頂くのか？魅力ある「議会だより」にするためには？町民の皆様方のご意見等をお聞かせ頂き今後の「議会だより」の発行に生かされたいと思います。

最後になりますが、町民皆様方のご健康、ご健康をご祈念申し上げまして、編集後記といたします。

広報委員 蒲池恭一